

宇治交配

# CR京晴 (きょうばれ)

根こぶ病抵抗性

**根こぶ病抵抗性品種で耐寒性に優れた晩生種！  
ボリューム感あふれる花蕾で品質最高！**

## 特 性

- ① 根こぶ病抵抗性 (CR) 品種ですので汚染圃場でも安心して栽培できます。
- ② 生育旺盛で耐寒性に優れた年内～早春どりの晩生品種です。
- ③ 粒が小さく、色が濃緑で諸病 (菌核病・ウイルス病) に強い品種です。
- ④ 花蕾・花梗ともにボリューム感があり、品質は最高です。
- ⑤ 一般平坦地では 8 月下旬より播種可能で、100 日で主枝・第一側枝が収穫初めとなりますが、その後 20～30 日目に強健な分枝が数多く出て収穫最盛期となります。



## 栽培のポイント!

### ① 播種準備

畑地・水田を問わず完熟堆肥を投入し、地力を高めることが大切です。品質のよい花蕾を長期間収穫するための基本となります。『色あせ』を防ぐための**施肥の基本は肥効を持続させることです**。元肥としては窒素で10～15kg/10a程度がよく、緩効性肥料を主体として、使用することをお勧めします。

### ② 播種・間引き

早播き、直播栽培をお勧めします。畝幅は2条植えの場合130～140cm、1条植えで70cmとし株間20～25cmで、一カ所に5～6粒の点播とするか、薄くすじ播きとします。間引きの方法は本葉2～3枚期に一カ所3本程度残し、本葉5枚時に一本仕立てとします。9月中旬以降の遅まきは主茎の太りが悪く、分枝数も少なくなるので適しません。必要種子量は播種方法にもよりますが、約3～4dl/10aです。

下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	8	9	10	11	12	1	2	3
関東	●	—	—	—	—	□	□	
関西		●	—	—	—	□	□	

● 播種 — 生育 □ 収穫

### ③ 収穫までの管理

発芽直後は特にアブラムシ・キスジノミハムシ等の食害には十分注意します。前述のように、はなな栽培においては「肥効の持続」がポイントですので、株の状態をみながら適時追肥してください。

### ④ 収穫

8月下旬～9月上旬播種の場合、主枝は12月上旬に収穫適期となるので一応収穫しておきますが、この時期はまだこの品質としての勢いがなく、12月下旬～1月上旬より第二・第三側枝が次々と伸長し収穫最盛期となります。

### 施肥例 (10a)

成分量 N25 P25 K25

肥料名	元 肥	追 肥 1	追 肥 2
完熟堆肥	4000kg		
苔土石灰	100kg		
磷加安	40kg		
IB化成050	60kg		
マグホス	40kg		
NK化成		40kg	40kg
施肥時期	畝立前	播種後40日頃	主枝・第一分枝の収穫後、草勢を見て適時